

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	三重県		市町村類型	II-O	指定団体等の指定状況		区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)		
					財政健全化等	×	歳入総額	20,565,145	22,121,435	実質収支比率	11.5	8.1				
市町村名	亀山市		地方交付税種地	1-3	財源超過	×	歳出総額	19,015,795	20,961,853	經常収支比率	88.6	85.2	(92.1)	(89.2)		
					首都	×	歳入歳出差引	1,549,350	1,159,582	標準財政規模	12,716,159	13,302,528				
					近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	91,163	77,440	財政力指数	1.12	1.28				
					中部	○	実質収支	1,458,187	1,082,142	公債費負担比率	16.5	14.1				
人口	22年国調(人)	51,023	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	376,045	-401,065	健全化判断比率	-	-	-	-		
	17年国調(人)	49,253			山振	○	積立金	7,484	520,138	実質赤字比率	-	-	-	-		
	増減率(%)	3.6			低開発	×	積立金取崩し額	532,000	700,000	連結実質赤字比率	-	-	-	-		
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	48,019	第1次	704	996	指数表選定	○	実質単年度収支	-148,471	-580,927	将来負担比率	3.7	3.1			
	23.03.31(人)	47,797		第2次	9,655	10,747	基準財政収入額	8,407,457	9,046,275	資金不足比率(※4)	-	-	-	-		
	増減率(%)	0.5			41.9	41.9	基準財政需要額	8,670,527	8,617,239							
面積(km ²)	190.91	第3次	12,708	13,382	標準税収入額等	10,876,503	11,790,410	将来負担比率	-		-	-	-			
人口密度(人/km ²)	267		55.1	52.2	經常経費充当一般財源等	12,020,136	11,621,855									
世帯数(世帯)	19,213		歳入一般財源等	16,396,532	16,890,310											
職員の状況																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	18,409,820	19,903,203	うち公的資金	11,971,797	13,015,195	債務負担行為額(支出予定額)	2,781,789	3,308,904
	市区町村長	1	9,453	一般職員	428	1,351,624	3,158	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	988,000	1,110,000	積立金現在高	4,539,425	4,513,941
	副市区町村長	1	7,078	うち消防職員	76	240,844	3,169	財政調整基金	1,406,139	1,733,410	減債基金	3,989,997	3,888,862	その他特定目的基金	-	-
	教育長	1	6,555	うち技能労務職員	28	79,772	2,849	教育公務員	20	58,640	2,932	臨時職員	-	-	-	-
	議会議長	1	4,950	教育公務員	20	58,640	2,932	合計	448	1,410,264	3,148	ラスパイレズ指数(※6)	108.0	(99.8)	-	-
	議会副議長	1	4,200	臨時職員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	議会議員	20	3,900	合計	448	1,410,264	3,148	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般会計等の一覧																
項番	会計名	事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)				
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業	(4)	水道事業会計	(8)	農業集落排水事業特別会計	(10)	三重県自治会館組合(うち一般会計)	(20)	亀山市地域社会振興会					
		(3)	後期高齢者医療事業	(5)	工業用水道事業会計	(9)	公共下水道事業特別会計	(11)	三重県自治会館組合(うちデジタル地図特別会計)	(21)	亀山市土地開発公社	○				
				(6)	病院事業会計			(12)	三重県自治会館組合(うち物品特別会計)							
				(7)	国民宿舎事業会計			(13)	三重県自治会館組合(うち公平委員会会計)							
								(14)	鈴鹿亀山地区広域連合(うち一般会計)							
								(15)	鈴鹿亀山地区広域連合(うち介護保険事業特別会計)							
								(16)	三重県地方税管理回収機構							
								(17)	三重県後期高齢者医療広域連合(うち一般会計)							
								(18)	三重県後期高齢者医療広域連合(うち後期高齢者医療特別会計)							
								(19)	三河鈴鹿農業共済事務組合							

(注釈) ※1: 經常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスパイレズ指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	11,763,894	57.2	10,942,577	83.8	普通税	10,942,577	93.0	-
地方譲与税	215,515	1.0	215,515	1.7	法定普通税	10,942,577	93.0	-
利子割交付金	26,491	0.1	26,491	0.2	市町村民税	3,608,450	30.7	-
配当割交付金	14,772	0.1	14,772	0.1	個人均等割	73,330	0.6	-
株式等譲渡所得割交付金	3,624	0.0	3,624	0.0	所得割	2,340,974	19.9	-
地方消費税交付金	487,026	2.4	487,026	3.7	法人均等割	173,779	1.5	-
ゴルフ場利用税交付金	122,478	0.6	122,478	0.9	法人税割	1,020,367	8.7	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	6,860,882	58.3	-
自動車取得税交付金	60,912	0.3	60,912	0.5	うち純固定資産税	6,859,197	58.3	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	104,137	0.9	-
地方特例交付金	119,095	0.6	119,095	0.9	市町村たばこ税	368,808	3.1	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	52,792	0.3	52,792	0.4	鉱産税	-	-	-
減収補填特例交付金	66,303	0.3	66,303	0.5	特別土地保有税	300	0.0	-
地方交付税	1,432,682	7.0	971,547	7.4	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	971,547	4.7	971,547	7.4	目的税	821,317	7.0	-
特別交付税	461,116	2.2	-	-	法定目的税	821,317	7.0	-
震災復興特別交付税	19	0.0	-	-	入湯税	2,582	0.0	-
(一般財源計)	14,246,489	69.3	12,964,037	99.3	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	8,145	0.0	8,145	0.1	都市計画税	818,735	7.0	-
分担金・負担金	191,675	0.9	2,008	0.0	水利地益税等	-	-	-
使用料	331,545	1.6	1,689	0.0	法定外目的税	-	-	-
手数料	78,036	0.4	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	1,693,687	8.2	-	-	合計	11,763,894	100.0	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	1,062,413	5.2	-	-				
財産収入	50,581	0.2	14,084	0.1				
寄附金	4,444	0.0	-	-				
繰入金	1,023,034	5.0	-	-				
繰越金	609,582	3.0	-	-				
諸収入	352,914	1.7	65,341	0.5				
地方債	912,600	4.4	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	504,000	2.5	-	-				
歳入合計	20,565,145	100.0	13,055,304	100.0				

区分		平成23年度	平成22年度
徴収率(%)	現年計	98.4	92.6
	市町村民税	97.9	90.9
	純固定資産税	98.6	95.0

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,130,568	実質収支	152,910
下水道	620,617	再差引収支	137,413
病院	306,081	加入世帯数(世帯)	6,379
上水道	9,011	被保険者数(人)	10,853
工業用水道	-	被保険者	88
国民健康保険	232,389	1人当り	82
その他	962,470	保険税(料)収入額	276
		国庫支出金	82
		保険給付費	276

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	307,072	1.6	-	307,072	-
総務費	2,422,488	12.7	150,426	2,132,487	-
民生費	5,360,062	28.2	184,344	2,872,343	-
衛生費	2,171,672	11.4	114,449	1,960,421	-
労働費	78,910	0.4	297	7,396	-
農林水産業費	648,198	3.4	115,360	570,374	-
商工費	269,998	1.4	-	236,696	-
土木費	2,194,994	11.5	1,178,574	1,462,402	-
消防費	859,645	4.5	79,176	773,440	-
教育費	1,913,549	10.1	265,179	1,768,522	-
災害復旧費	79,590	0.4	-	46,771	-
公債費	2,709,617	14.2	-	2,709,258	-
諸支費	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	19,015,795	100.0	2,087,805	14,847,182	-

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,203,994	48.4	7,146,889	6,570,596	48.5
人件費	3,718,362	19.6	3,384,552	3,216,743	23.7
うち職員給	2,518,217	13.2	2,216,778	-	-
扶助費	2,776,015	14.6	1,053,079	974,595	7.2
公債費	2,709,617	14.2	2,709,258	2,379,258	17.5
元利償還金	2,709,617	14.2	2,709,258	2,379,258	17.5
うち元金	2,405,983	12.7	2,405,629	2,075,629	15.3
うち利子	303,634	1.6	303,629	303,629	2.2
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	7,644,406	40.2	6,563,703	5,449,540	40.2
物件費	3,895,834	20.5	3,279,252	2,798,827	20.6
維持補修費	657,708	3.5	535,325	473,885	3.5
補助費等	1,122,072	5.9	988,143	535,577	3.9
うち一部事務組合負担金	21,508	0.1	21,508	19,020	0.1
繰出金	1,791,348	9.4	1,641,251	1,641,251	12.1
積立金	115,390	0.6	88,678	-	-
投資・出資金・貸付金	62,054	0.3	31,054	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,167,395	11.4	1,136,590	-	-
うち人件費	101,367	0.5	101,367	-	-
普通建設事業費	2,087,805	11.0	1,089,819	-	-
うち補助	594,573	3.1	311,124	-	-
うち単独	1,479,392	7.8	777,255	-	-
災害復旧事業費	79,590	0.4	46,771	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	19,015,795	100.0	14,847,182	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成23年度 三重県亀山市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	20,565	19,016	1,549	1,458	1,023	18,410	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
29							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

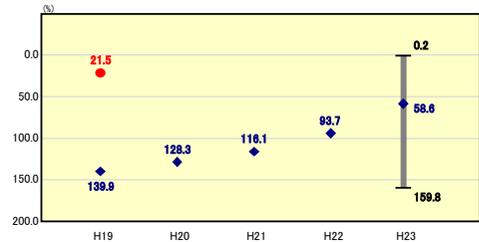
三重県亀山市

人口	48,019 人 (H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	190.91 km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	20,565,146 千円	実質公債費比率	3.7 %
歳出総額	19,015,795 千円	将来負担比率	- %
実質収支	1,458,187 千円	市町村類型	H19 I-O H20 I-O H21 I-O
標準財政規模	12,716,159 千円	(年度毎)	H22 I-O H23 II-O
地方債現在高	18,409,820 千円		



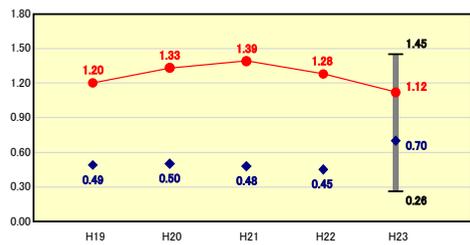
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

将来負担の状況 将来負担比率 [-%]



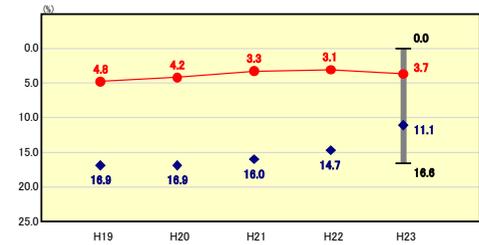
将来負担比率の分析欄
 充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-%」となっています。今後は、公債費の償還額増に伴う基金の繰入により、将来負担比率の増が見込まれることから、事業の実施について総点検を図り、引き続き財政の健全化に努めます。

財政力 財政力指数 [1.12]



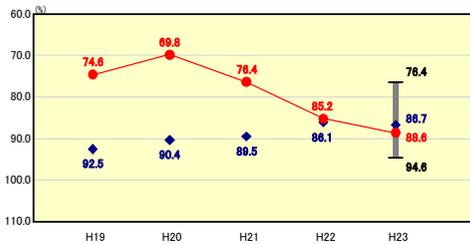
財政力指数の分析欄
 企業立地などの産業振興施策の効果などにより、3か年平均である財政力指数は、1.12と類似団体中5位となっていますが、単年度では、0.97となり、平成17年度より継続してきた普通交付税の不交付団体から交付団体に移行しました。今後は、亀山市行財政改革大綱後期実施計画に基づき施策を強力に推進し、持続可能な健全財政を目指して行財政改革に取り組みます。

公債費負担の状況 実質公債費比率 [3.7%]



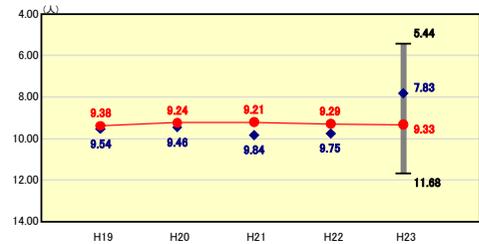
実質公債費比率の分析欄
 平成23年度は、過去の安定的な市税収入により、類似団体中4位となっていますが、今後は、市税の減収、公債費償還額の増加により、指数が上昇することが見込まれることから、自主財源の確保を図るとともに、市債の借入額の抑制を図ります。

財政構造の弾力性 経常収支比率 [88.6%]



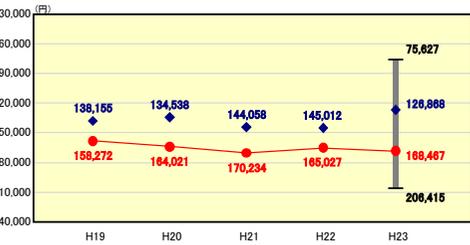
経常収支比率の分析欄
 市税収入の減や臨時財政対策債などの借入の減額により、経常収支比率は88.6%と、前年度を3.4ポイント上回りました。この指数は、年々上昇傾向にあり、今後も財政構造の硬直化が懸念されます。今後は、自主財源の確保を図るとともに、亀山市行財政改革大綱に基づき、持続可能な健全財政を目指して行財政改革に取り組みます。

定員管理の状況 人口千人当たり職員数 [9.33人]



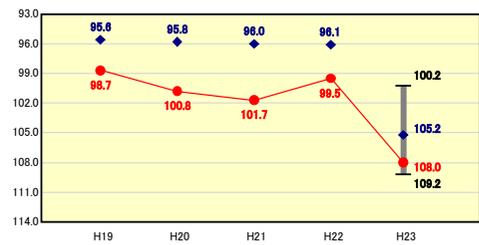
人口千人当たり職員数の分析欄
 類似団体平均を上回っていますが、亀山市では、平成17年度から5年間で5%の削減を行っており、今後も定員適正化計画に基づき、適正な定員管理に努めます。

人件費・物件費等の状況 人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [168,467円]



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人口1人当たり168千円となっており類似団体平均値を上回っています。これは、消防や廃棄物処理などの業務を市単独で実施しているなどの特殊な要因によるものと考えられます。今後、行財政改革の推進により改善を図ります。

給与水準 (国との比較) ラスパイレス指数 [108.0]



ラスパイレス指数の分析欄
 若手職員の給料調整等により、類似団体平均値を上回っています。職員の給与については、地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、国及び県との比較も考慮しながら適正化に努めます。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

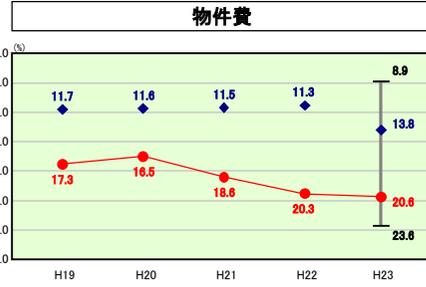
三重県亀山市

経常収支比率の分析

人口	48,019 人(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	190.91 km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	20,565,145 千円	実質公債費比率	3.7 %
歳出総額	19,015,795 千円	将来負担比率	- %
実質収支	1,458,187 千円	市町村類型	H19 I-O H20 I-O H21 I-O
標準財政規模	12,716,159 千円	(年度毎)	H22 I-O H23 II-O
地方債現在高	18,409,820 千円		

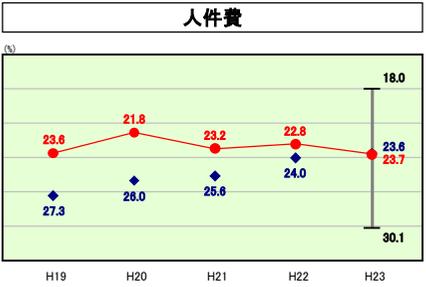
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 38/40 全国平均 13.1 三重県平均 15.1

物件費の分析欄
消防や廃棄物処理を市単独で行っているため、その施設管理等に係る経費が類似団体に比して大きくなっており、経常収支比率に占める物件費の割合も、高い水準になっています。今後は、亀山市行財政改革大綱に基づき、持続可能な健全財政を目指して行財政改革に取り組みます。



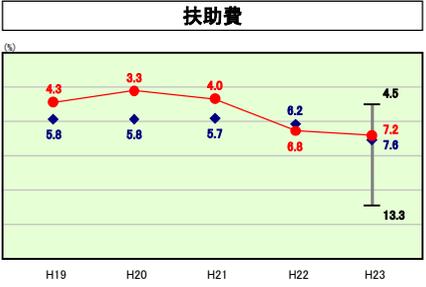
類似団体内順位 18/40 全国平均 25.4 三重県平均 25.0

人件費の分析欄
定員適正化計画に基づき、人員の削減を行ってききましたが、人件費に係る経常収支比率は類似団体の平均を0.1ポイント上回っています。人件費については、今後も定員適正化計画に基づき、引き続き人員の適正化に努めます。



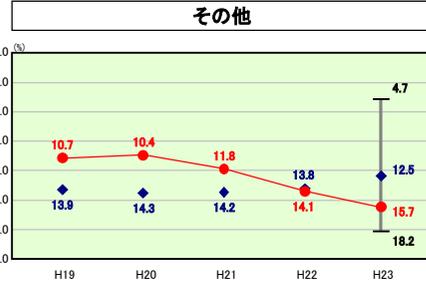
類似団体内順位 3/40 全国平均 10.1 三重県平均 10.4

補助費等の分析欄
類似団体と比較すると、経常収支比率に占める割合は低いものの、増加傾向にあります。今後は、補助金等の適正化を図るために、補助金の目的、成果等を十分検証し、市民ニーズを的確に捉えた上で、補助金の内容の見直しを行います。



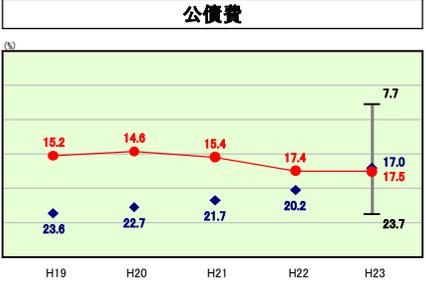
類似団体内順位 20/40 全国平均 10.5 三重県平均 7.7

扶助費の分析欄
扶助費に係る経常収支比率は、類似団体の平均を下回っていますが、年々上昇傾向にあります。今後も資格審査等を適正に行うとともに各種手当への適正な給付に努めるなど、扶助費の上昇を極力抑制するよう努めます。



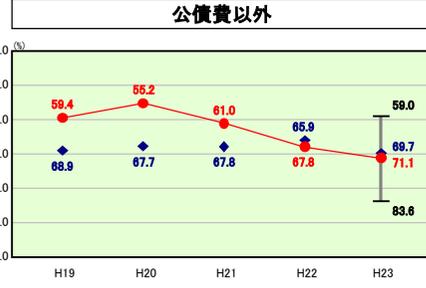
類似団体内順位 35/40 全国平均 12.2 三重県平均 12.8

その他の分析欄
その他における経常収支比率が類似団体を上回ったのは、収入における経常一般財源が大幅に減ったためですが、そのうち、他会計への繰出金が大半を占めています。今後は、他会計の経営の健全化に努めるとともに、歳入確保、経費の縮減に努め、経営の健全化に努めます。



類似団体内順位 20/40 全国平均 19.0 三重県平均 16.9

公債費の分析欄
公債費は、合併特例債の償還などにより増加の傾向にあり、今後、公債費全体も増加の見込みとなっています。今後は、可能な限り市債発行を抑制することで、公債費の抑制を図ります。



類似団体内順位 25/40 全国平均 71.3 三重県平均 71.0

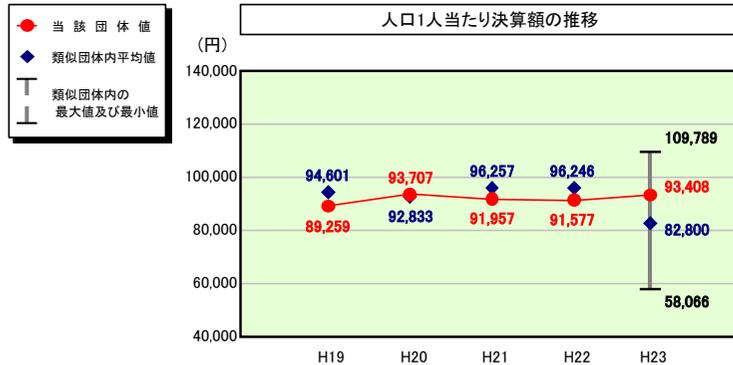
公債費以外の分析欄
公債費以外の経常収支比率が類似団体を上回ったのは、収入における経常一般財源が大幅に減ったためですが、今後もこの傾向は継続する見込みです。今後は、自主財源の確保を図るとともに、亀山市行財政改革大綱に基づき、持続可能な健全財政を目指して行財政改革に取り組みます。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

三重県亀山市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



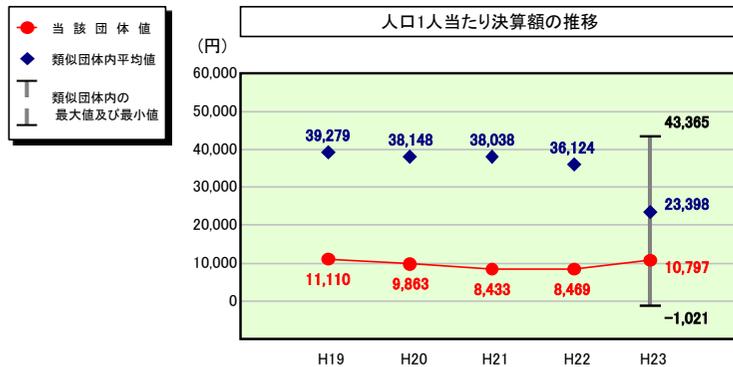
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)		人口1人当たり決算額	
	当該団体 (千円)	当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,718,362	77,435	70,753	9.4
賃金 (物件費)	683,271	14,229	5,967	138.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	697	15	8,918	▲ 99.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	123,503	2,572	1,227	109.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	141,805	2,953	2,683	10.1
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	101,367	2,111	1,391	51.8
▲退職金	▲ 283,658	▲ 5,907	▲ 8,138	▲ 27.4
合計	4,485,347	93,408	82,800	12.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	9.33	7.83	1.50
ラスパイレース指数	108.0	105.2	2.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

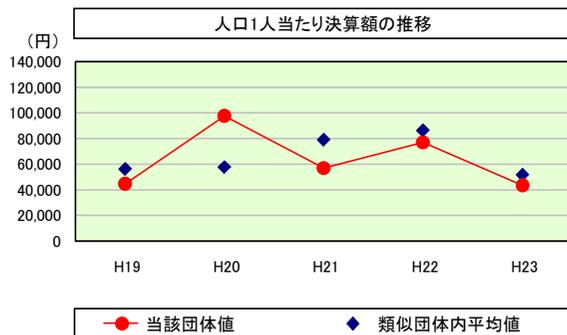


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)		人口1人当たり決算額	
	当該団体 (千円)	当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,709,617	56,428	46,680	20.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	60	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	557,887	11,618	14,240	▲ 18.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	-	-	3,704	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,554	32	1,956	▲ 98.4
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	4	-
▲特定財源の額	▲ 806,261	▲ 16,790	▲ 4,725	255.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,944,355	▲ 40,491	▲ 38,520	5.1
合計	518,442	10,797	23,398	▲ 53.9

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

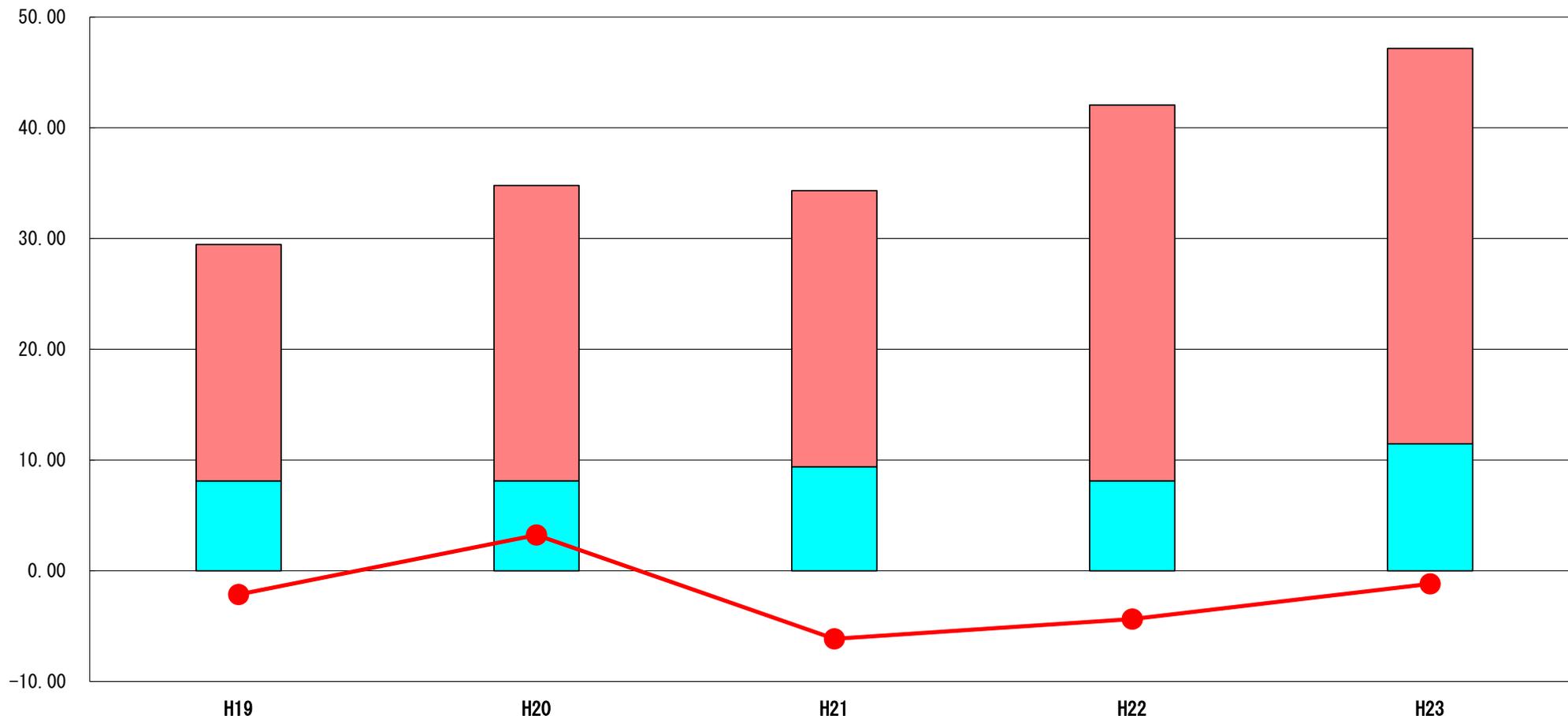
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	
H19	2,125,066	44,693	▲ 11.1	56,233	▲ 13.8	2.7
うち単独分	1,888,491	39,718	3.0	32,240	▲ 8.6	11.6
H20	4,659,844	97,668	118.5	57,848	2.9	115.6
うち単独分	4,132,668	86,619	118.1	33,469	3.8	114.3
H21	2,723,963	57,045	▲ 41.6	79,008	36.6	▲ 78.2
うち単独分	2,028,156	42,474	▲ 51.0	46,014	37.5	▲ 88.5
H22	3,689,236	77,186	35.3	86,381	9.3	26.0
うち単独分	1,962,951	41,068	▲ 3.3	41,242	▲ 10.4	7.1
H23	2,087,805	43,479	▲ 43.7	51,704	▲ 40.1	▲ 3.6
うち単独分	1,479,392	30,808	▲ 25.0	26,896	▲ 34.8	9.8
過去5年間平均	3,057,183	64,014	11.5	66,235	▲ 1.0	12.5
うち単独分	2,298,332	48,137	8.4	35,972	▲ 2.5	10.9

(5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成23年度

三重県亀山市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		21.35	26.66	24.94	33.93	35.70
 実質収支額		8.11	8.13	9.38	8.13	11.47
 実質単年度収支		▲ 2.15	3.24	▲ 6.15	▲ 4.37	▲ 1.17

分析欄

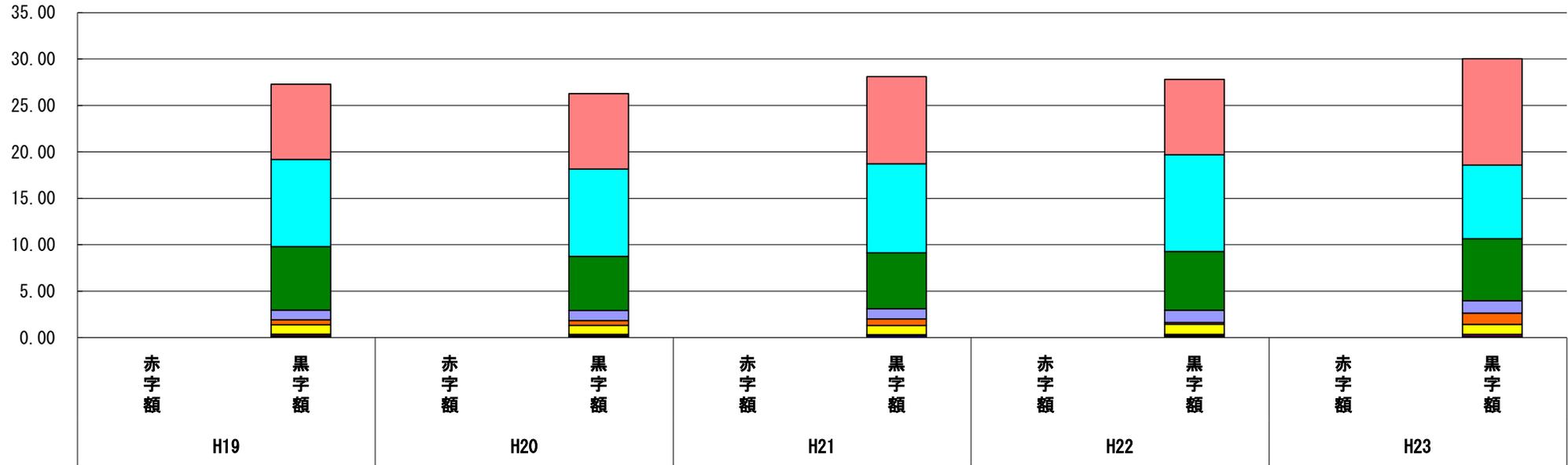
標準財政規模に対する財政調整基金残高の占める割合は、増加傾向にあり、また、実質収支額も過去5年間、ほぼ同程度で推移しています。ただし、実質単年度収支では、マイナス傾向が強くなっています。今後は、経済事情の影響や市税の減収などにより、財源不足が生じたときなど、年度間の財源の不均衡を調整するために、計画的な財政調整基金の運用を図ります。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

三重県亀山市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
一般会計		8.11	8.13	9.38	8.13	11.47
病院事業会計		9.39	9.40	9.60	10.41	7.93
水道事業会計		6.82	5.84	6.02	6.34	6.66
工業用水道事業会計		1.06	1.08	1.10	1.31	1.35
国民健康保険事業		0.53	0.52	0.71	0.18	1.20
国民宿舎事業会計		1.01	0.96	0.98	1.11	1.09
公共下水道事業特別会計		0.19	0.17	0.08	0.11	0.23
農業集落排水事業特別会計		0.11	0.13	0.04	0.08	0.10
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.07	0.05	0.20	0.15	0.01

分析欄

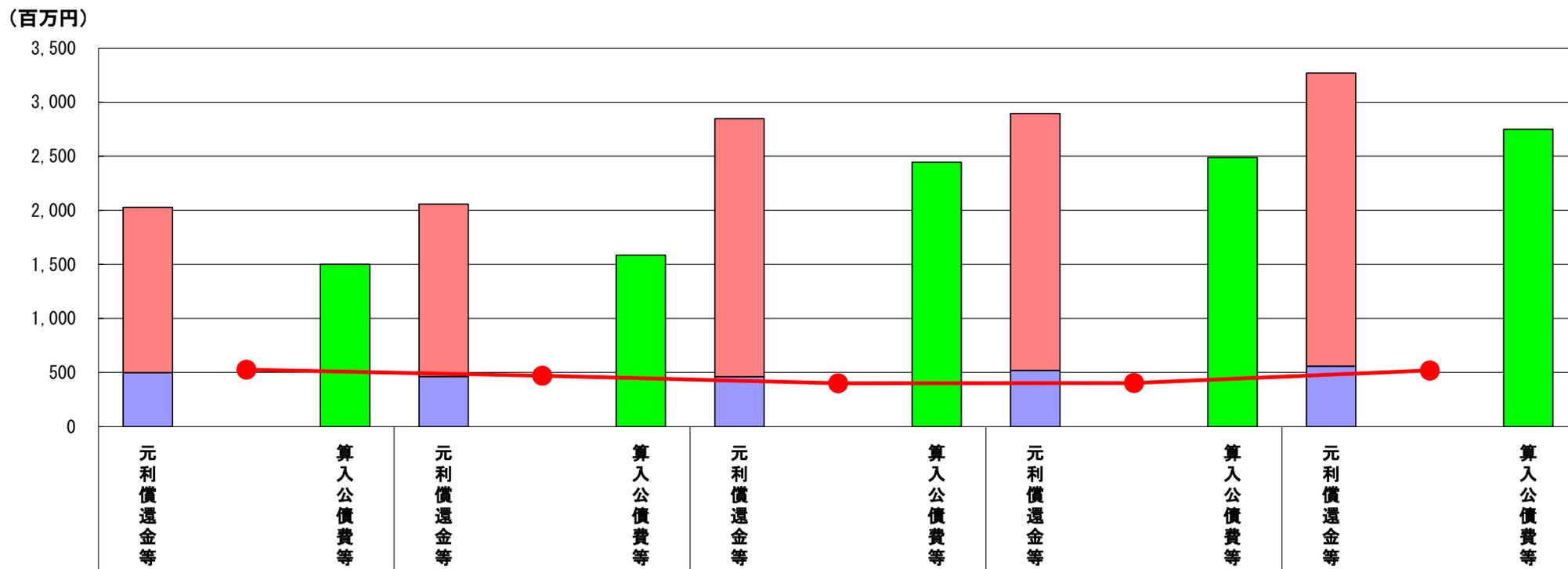
一般会計、特別会計及び企業会計において実質赤字はなく、連結実質赤字比率は、指標なしとなっています。今後は、市税の減収が見込まれるため、企業会計にあつては、収入の増加に努め、事業の経費は、主として事業の経営に伴う収入を充てるという基本原則を再確認し、経営の健全化に努めます。また、特別会計については、独立採算制を基本原則に掲げ、経営の健全化に努め、歳入の確保、経費の縮減に努め、一般会計からの繰出しに依存しないような経営の健全化に努めます。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

三重県亀山市



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,529	1,594	2,386	2,374	2,710
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		499	463	461	519	558
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1	1	1	2	2
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,501	1,586	2,445	2,489	2,750
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		528	472	403	406	520

分析欄

実質公債費比率の分子は、年々上昇傾向にあります。交付税措置のある起債を借り入れているため、算入公債費等の額も同様の傾向を示し、結果として分子の比率は4億円から5億円程度で推移しています。従来より、合併特例債などの交付税措置のある起債を優先して借入していることから、今後も、実質公債費比率の分子は、4億円から5億円程度となることを見込まれます。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

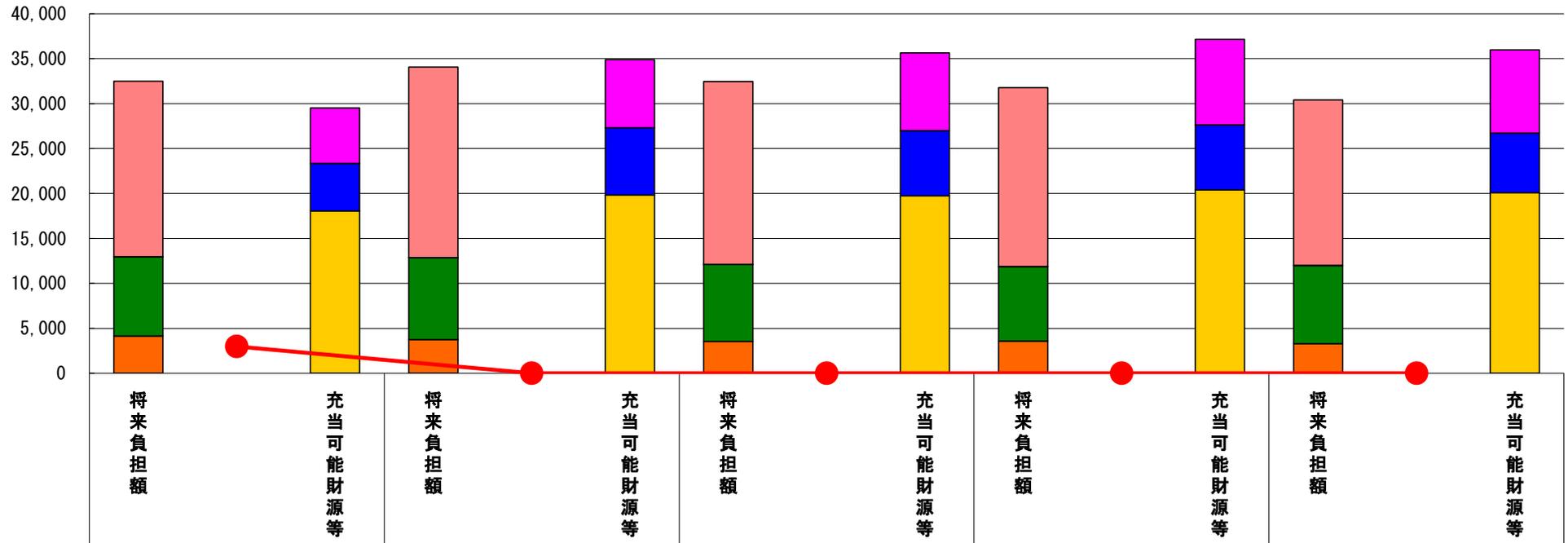
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

三重県亀山市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		19,534	21,212	20,353	19,903	18,410
	債務負担行為に基づく支出予定額		8	7	6	5	4
	公営企業債等繰入見込額		8,817	9,126	8,572	8,290	8,705
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		4,141	3,733	3,533	3,469	3,241
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	111	49
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,162	7,580	8,642	9,527	9,272
	充当可能特定歳入		5,289	7,480	7,257	7,231	6,609
	基準財政需要額算入見込額		18,065	19,831	19,744	20,398	20,099
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,983	▲ 814	▲ 3,180	▲ 5,378	▲ 5,571

分析欄

過去からの起債抑制により、一般会計等に係る地方債の現在高は、平成20年度をピークに減少しています。また、借入を行う場合でも、交付税措置のある有利な起債を借入しているため、基準財政需要額算入見込額が増加し、将来負担比率の分子は減少しています。今後は、税収の大幅な減少が見込まれる中、継続的な行政サービスを提供するため、地方債の借入、充当可能基金の取り崩しなどにより将来負担比率の分子が増加することが見込まれます。今後も、起債の抑制を図ると共に、借入を行う場合には、交付税措置のある有利な起債の借入を行い、財政の健全化を図ります。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。